

神長善次著「日本の底力の活性化を」下野新聞 2010年9月5日刊を読む

日本の底力の活性化を

1. 「日本の自殺者数は年間 3 万人を超えているのが 14 年間続いてますが、青年に希望を与えんとする政治家はいないのですか。確たる国家戦略はないのですか。その財源がないなら我々途上国への支援を打ち切ってでも対策をとってほしいと思います」。これは日本に学び生活しているアジアの最貧国の紳士が日本の将来を案じて発した言葉である。
2. 加えて失業者数 330 万人、職なきフリーター 178 万人、ひきこもり者推定 70 万人といわれる。その大半が青年たち。だが国家戦略がない。さらに短命政権下ではビジョンが見えず、あるのは一介の方策にすぎない。そこには 4 年という日本の命運を託した国民の意思が反映されていない。

発揮されぬ政治指導力

3. 日本史上、執政者の指導力が発揮されず政権がころころ変わり、揚げ句の果てに下克上や軍部が台頭した時、日本は衰退し底力を失った。応仁の乱や先の大戦がそうだ。
4. 逆に象徴天皇を戴き、執政者たる摂政、関白、将軍、首相が評定衆、幕閣、内閣の意見を広く採り入れて指導力を発揮した時、日本は実力を発揮し隆盛した。頼朝、家康の武家政権、時宗の蒙古撃退、戦後の吉田政権がその例である。
5. 田中政権以降、佐藤栄作首相が沖縄返還にかけたような情熱を北方領土に注いだ政権はない。中国艦船が、浮上した潜水艦と隊列を組んで日本の排他的経済水域 (EEZ) を航行しても、世論は沸騰せず外交も弱腰である。
6. 日本の EEZ 領域は、450 万平方キロメートルで世界第 6 位の広さ。日本国土面積 38 万平方キロメートルをはるかに越える大海洋域だ。そこには将来の希望が眠っている。大海洋での養殖漁業、観光、発電、海底鉱物資源開発が可能な莫大^{ばくだい}な海の宝庫なのだ。
7. 技術力と知的創造力は、日本の底力の希望の星である。探査衛星はやぶさは、イトカワ探査と地球帰還で人類の宇宙への夢に光明を与えた。最先端技術の液晶、iPS 細胞、水浸透膜、HV 車など発明源は日本だ。特許の知的財産も豊かだ。問題は、人材開発、高等教育にかかわる国家戦略のあ

り様である。日本は、インドや中国に劣らぬ世界をリードする深い教養と知性に裏打ちされた独自の高等教育システムを早急に持つべきだ。

素晴らしい気質発信を

8．モンスーン気候とシベリア高気圧は、日本に雨雪をもたらし海に守られた列島に 1 万 5 千年に及んで緑土豊穰^{ほうじょう}を恵み、人々に自然との共生気質をはぐくんだ。その共生気質は、寛容心と平等心を涵養^{かんよう}し、二者択一ではない二者融合の思想を生み、神仏習合と人間性善説を植え付けた。おかげで西欧のような宗教戦争はほとんどない。この素晴らしい日本気質の特性を日本の底力として日本人自身が気づき、それを世界に発信する気構えを持ちたい。

9．日本の領土と風習そして日本人気質をしっかりとわきまえる時、そこに日本の底力がありありと示され明るい日本の未来が開けてくる。その展望を確かな戦略に組み込んで強い指導力をもって実行することだ。政治の責任がそこにある。

[コメント]

神長大使の日本を思う心は読者の心をゆり動かす。この素晴らしいご提言をどう具現化するか、われわれ自身が問われている。

- 2010 年 9 月 5 日 林 明夫記 -